

2020年度教育ネットワーク中国第3回研修会（オンライン）開催報告

1. 日 時 2021年3月2日（火） 14:00～15:30
2. 会 場 Zoomによるウェビナーシステムを利用
(研修会動画のYouTube限定配信)
3. テーマ 「インストラクショナルデザイン（ID）を活用したオンライン授業の設計」
4. 内 容

13:30～ Zoom 接続開始

14:00～14:05 開会挨拶
教育ネットワーク中国代表理事・焼廣 益秀（広島国際大学 学長）

14:05～15:05 講師による講演
東京都立大学 大学教育センター・教授
教学 IR 推進室 教学 IR データ管理・分析部門長 松田岳士 先生

15:05～15:25 質疑応答

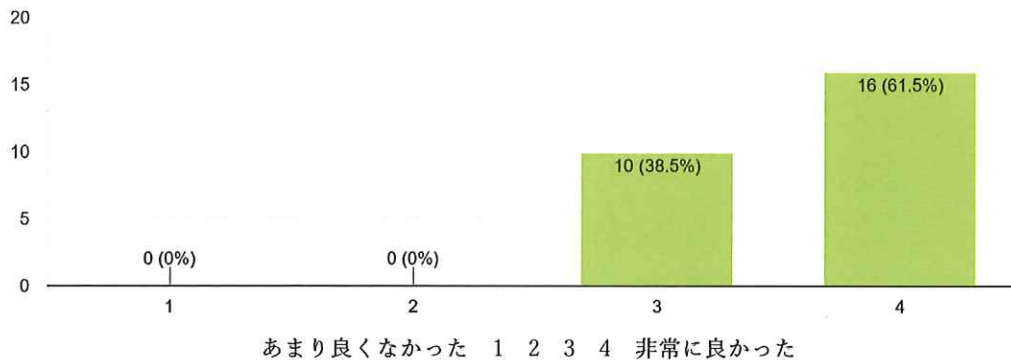
15:25～15:30 まとめ
教育ネットワーク中国研修事業部会部会長・向田 一郎（広島国際大学）
5. 参加者について
40人参加（申込者数52人）
エリザベト音楽大学1人、県立広島大学2人、山陽女子短期大学1人、
広島経済大学6人、広島国際大学9人、広島修道大学6人、広島女学院大学2人、
広島大学1人、安田女子大学1人、広島文教大学1人、日本赤十字広島看護大学6人、
広島都市学園大学2人、教育ネットワーク中国2人
6. 限定配信希望者15人（3.16現在）
エリザベト音楽大学1人、山陽女子短期大学1人、広島国際大学4人、
広島大学1人、広島女学院大学2人、安田女子大学1人、安田女子短期大学1人、
日本赤十字広島看護大学3人、広島都市学園大学1人
7. 事前アンケートについて
今後、取り上げてほしいテーマ
・オンラインを使った、このような講演や授業などの実施方法について
・オンラインによる演習計画の立案
・学外実習の代替えとして行う学内実習
・オンラインでの試験、評価方法
・オンライン授業が多くなる中、何か自分が取り残していないかなどの視点をもって参加させていただきたいです。また、授業の設計だけにはとどまらない、科目の設計L C Mを用いたケースなども知りたいです。よろしく願いいたします。
・「インストラクショナルデザイン（ID）を活用した（看護学）実習の設計」について是非お願い致します。

第3回研修会アンケート

(回答 26 件)

■ 第3回研修会はいかがでしたか

26 件の回答



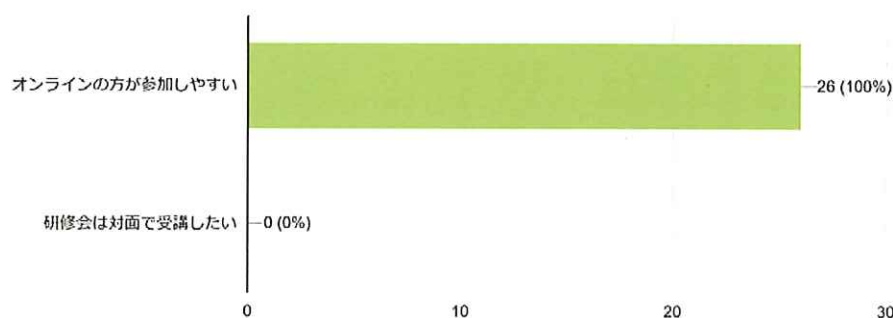
■ 研修会の感想があればお聞かせください。19 件の回答

- ・後のイノベーションモデルのお話で、「行動目標を認知目標に置き換えて考える」という内容を参考にして、今後の授業構築を行ってみようと思いました。
 - ・雪が降っている」の一言で遠隔だけどリアル感がでた。ゴールを決めてから授業を組み立てる方法は本学に合っていると感じた。
 - ・自分が知らなかった知識、方法論などを知ることができ、良かった。誠にありがとうございます。その一方、やや抽象的な概念、説明があったように思える。広範囲の分野の者が聞けるような、もう少し具体的、実践的な話があると良いと思う。
 - ・体にわかりやすい研修で、今後の教育活動に活かしていきたいと思います。特に学習デザインについて興味を持ちました。
 - ・オンライン授業を包括的な視点で捉える視座をいただいた。
 - ・インストラクショナル・デザインについて、わかりやすい解説をありがとうございました。
 - ・当日、別作業があり、視聴を失ってしまいました。しかし、事後にいただいた資料を参照しました。授業デザインの重要性を痛感しました。参加できなかったことを悔やんでおりましたが、資料を参考に自分なりに4月以降の新学期に活用していきたいと思っております。できれば、再度チャンスがあるときに、参加を希望しています。
 - ・事前に資料をいただき準備ができたので良かったと思う。IDはこの頃よく聞く用語だったので、理解が深まった。
 - ・大変分かりやすくご講義いただきました。IDの他の理論について、最後に補足をしてくださいましたが、さらに詳しく知りたいと思いました。本の紹介もありがとうございます。
 - ・IDプロセスに沿って授業設計の方法を説明いただいたので、各プロセスの重要点がよく理解できました。ありがとうございました。
 - ・講師の方が（時間が余った場合の補足資料も含めて）非常にしっかりと準備をされており、熱意も伝わる、大変充実した内容の研修でした。
- 一方、チャットによる質問提示方式は、あまり使い勝手が良くないと感じました。講師の話聞き逃さないようにしながら質問を書き込むのは至難の業で、質疑応答タイムに入ってからでも、質問の入力には口頭での質問よりも時間がかかるため、できれば挙手のうえ直接口頭で伝える方式の方が望ましいと思います。
- ・オンライン（オンデマンド）授業の工夫の仕方や、今年度作成したオンデマンド資料の使い方（反転授業で活かすこと）は参考になりました。また伝統的なIDモデルである「格差補填モデル」の考え方、つまり試験問題をまず作成して、そこから逆算して授業の計画（デザイン）を考えるという手法は斬新だと思いました。

- ・勉強になりました。
- ・ルールに従っての授業構築の大切さが理解できました。
- ・非常に有益でした。松田先生が時間をめいっぱい使ってお話しをしてくださり、感謝しています。学習デザインのお話を強調してくださっていたところ、イノベーションモデルでの作り方のお話をしてくださったところが特に良かったです。
- ・大学教員になって丸1年です。初のシラバス作成前に学びたかったです。
- ・新学期の授業を考えるうえで大変勉強になりました。
- ・7月にも松田先生の研修を受講いたしました。復習にもなってさらに理解できたと思います。
- ・オンライン授業の設計における理論的な話が聞けて参考になりました。

■ 第3回研修会はオンラインで開催しましたが、いかがでしたか？

26件の回答



■ 参加しやすい日程や時間帯があれば教えてください。

- ・普段は多忙なので、2月後半、3月前半や9月前半など授業、試験、成績評価がない時期が望ましい。
- ・平日の午後
- ・今回のような日時であれば参加しやすい。
- ・できれば週後半の方が参加しやすいように思う
- ・平日の夕方
- ・平日は授業があると参加できず残念なので、土曜日や夕方18時以降の開催だと大変ありがたいです。
- ・土曜の午後
- ・授業期間中は、土曜日の昼間が参加しやすい
- ・平日の日中。

■ 研修会の企画内容のご希望をお聞かせください。

- ・今後、いろんな場面で必要性が増えると思えるオンライン授業に役に立つ知識、方法を、ご教示いただけましたら、幸いです。
- ・オンラインの演習方法
- ・海外との教育機関との、オンラインを使用した学習方法など紹介があれば聞いてみたい。ありがとうございました。
- ・「学習デザイン」について
- ・学習意欲を高めるためのARCSモデルを活用したインストラクショナルデザインについて研修会をお願いしたいです。
- ・今回の補論であったお話をもっと深く聞きたいです。
- ・授業改善についての研修会をこれからもお願い致します。
- ・タイムリーな内容で、すぐに役に立つもの